IEEE 広島支部 2007 年第 2 回理事会議事録(案)

日時：2007 年 6 月 2 日(土) 15:00-17:15
場所：岡山県立大学情報工学部棟 3F 会議室(2313 室)
出席者：角田、堀田、六井、大久保、玉木、塚田、土屋、中西、西、吉田、舟阪
委任状提出者：山口

議事内容

1. HISS 関連

・実行委員会

中西理事より第 1 回 HISS 実行委員会について資料に基づいて報告があった。以降の実行委員会はメールで行われること、メーリングリストが設定されることが確認された。広報に岡山の委員がいないので兼任も含めて実行委員会に微調整を依頼することとした。テーマはこれまで 3 回ずつ同じもので運営されてきており、特別変更の要望もないことから一昨年、昨年と同一となった。委員長がすべて鳥取大学の学生になっていると各大学の参加意識がうすれる懸念がある、との意見があった。実行委員に学生会員になるよう勧誘するメールを角田支部長から送付する。

・予算

昨年と同じ規模を想定する。JC に昨年と同様、50 万円の Section 支援を申請する。また本年も関連学会に支援を申請する。HISS 当日は実行委員には旅費が至急されないことを周知し、自身が論文を出すことで費用を確保するなどの検討をお願いする。主催校については協賛、各大学には後援を依頼し、金銭的な支援は要求しない。

・研究賞審査

審査委員には理事以外も入れて倍増させるのはどうか。現在の理事の専門分野の大分類を報告して頂き、それ以外の分野で理事以外の方に入って頂き、分野のカバーを検討する。査読委員の先生で当日来られる先生にお願いしてはどうか。論文を読んで当日の発表もチェックし、論文賞ではなく個人への賞を選ぶ役割。昨年は概要でしぼっていたが、それだけでは内容の判断が難しいので変更する。

・査読

ジャーナル等の査読とは異なることを査読依頼に明記し、査読委員の先生に誤解されることがないように。論文はまとめてなるべく早く委員に配ってもらう。

2. Region 10 Meeting 報告

堀田副支部長より資料に基づいて IEEE Region10 Annual Meeting 参加の報告があった。Region Promotion Committee 設立の要請があったとのことで、玉木理事が Committee Chair

となった。HP で確認されるとのことなので、他の Chair もまとめて HP に記載する。広島支部で会員の多い Computer, Communications Society について会員に Chapter 設立を呼びかけてはどうか。ただし Japan Chapter がすでにある場合はそこを抜けてから。また IEEE 本部から各支部への送金方法についての提案については Japan Council との調整も必要であろうことからしばらく様子見となった。また支部設立の経緯や歴史、歴代役員を掲載するページの作成が依頼されているようなのでデータ（英文？）の準備が必要。

3. IEEE 広島支部功労賞規定および功労者選定手続
西理事より資料に基づき第 2 案の説明がなされた。電子情報通信学会の功労賞が想定されているようだが、少し対象をかえる必要がある。支部長クラス対象のもの（特別功労賞？）と 2 段階にするのはどうか。毎年必ず出すものではなく推薦があれば。周知が必要なので手続きとともに HP で公開、あるいは ML で総会案内とともに通知するのはどうか。推薦も公募でいいのか等検討の余地がある。来年度開始ぐらいの計画で。選考基準をはっきりさせる必要がある。対象者のイメージを内規で記述するのはどうか。

4. 講演会の共催について
吉田理事より資料に基づき、計測自動制御学会(SICE)中国支部の講演会への共催依頼の説明がなされた。共催を承認することとした。

5. その他
・Section Rebate 小切手受け取り報告
六井会計幹事より説明。内訳は前年と同じなら一ヶ月ほど遅れて受け取る。
・議事録の公開手順について
できるだけ簡略化したいとの角田支部長からの要請があった。
・次回(2007 年第 3 回)理事会の予定
広島で 9/18(火)14 時頃から。(後にメールで 9/19(水)14 時に変更。)